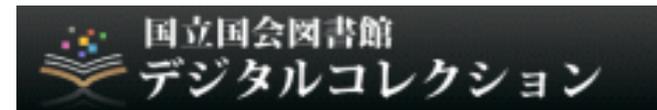


中央機関関係文書（その2）目録

国立国会図書館憲政資料室

この資料は国立国会図書館デジタルコレクションで公開しています

<http://dl.ndl.go.jp>



目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」

<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>

リサーチ・ナビ
国立国会図書館

宍戸機関係文書（その2）目録 凡例

- ・この目録は、国立国会図書館が平成17年に宍戸家より譲渡を受けた宍戸機関係文書（第二次受入分）の目録である。宍戸家からは昭和26年にも宍戸機関係文書の譲渡を受けており、その目録は『広沢真臣宍戸機関係文書目録』（国立国会図書館参考書誌部,1967. 憲政資料目録;第5 <当館請求記号312.1 - Ko548h>）として刊行されている。
- ・書翰の部は宍戸機宛書翰・宍戸機発信書翰・第三者間書翰に分類し、その中を発信者名のアルファベット順に並べたうえ、年代順に配列した。
- ・書類の部は内容により適宜項目を立ててまとめたため、必ずしも年代順となっていない。項目名は上記『広沢真臣宍戸機関係文書目録』を参考とした。
- ・各文書の成立年代および作成者のうち、原文書に記載がなく、当目録編者において考証したものについては〔 〕中に入れて区別した。
- ・書類の表題は、原文書にあるものはそれに従い、欠題のものは内容により適宜に題を附した。後者については〔 〕中に入れて区別した。

穴戸璣関係文書（その2）目録 目次

穴戸璣宛書簡	p.1	日記	p.39
穴戸璣発信書簡	p.21	山県太華（半七）関係書類	p.42
第三者間書簡	p.22	穴戸功男関係書類	p.43
蝦夷地巡見関係書類	p.23	学問関係書類	p.47
維新関係書類	p.24	文芸関係書類	p.52
長州藩関係書類	p.26	穴戸家関係書類	p.56
明治新政関係書類	p.29	その他の書類	p.57
駐清公使時代の書類	p.30	書画	p.62
元老院関係書類	p.30	書簡（旧番外）	p.65
穴戸璣葬儀関係書類	p.30	書類（旧番外）	p.66
証書類	p.31		
		穴戸璣別名一覧・略年譜	p.68

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
宍戸機宛書簡											
1		青木周蔵書簡 宍戸機・杉孫七郎宛	青木周蔵	宍戸機・杉孫七郎	明治18年1月15日	1通	山口県中学元資金寄付の件	山口県中学資金予約書 明治18年1月15日付 毛利元徳宛、1枚	墨書		
2		赤川又太郎書簡 宍戸機宛	赤川又太郎	宍戸機	13日	1通	芸城着来之控口の手元には無御座候。大津手控写取の事と奉存候。		墨書		宛名は備後助（宍戸機の通称）
3		井関美清書簡 宍戸機宛	井関美清	宍戸機	3月31日	1通			墨書		封筒は宍戸から井関宛
4		伊藤博文書簡 宍戸機宛	伊藤博文	宍戸機	明治20年6月15日	1通	陪食仰付候。		墨書		
5 井上馨書簡											
5	1	井上馨書簡 宍戸機宛	井上馨	宍戸機	3月9日	1通	家扶人選。従三位公、14日より御発途。		墨書		
5	2	井上馨書簡 杉孫七郎宛	井上馨	杉孫七郎	6月24日	1通			墨書		宛先は聴雨（杉孫七郎の号）
6		井上毅書簡 宍戸機宛	井上毅	宍戸機	〔明治5年〕2月8日	1通		蜂須賀茂韶紹介状、1通	墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
7		岩倉具定書簡 宍戸機宛	岩倉具定	宍戸機	明治26年7月21日	1通	岩倉具視十年祭案内		墨書		
8		鴻雪爪書簡 宍戸機宛	鴻雪爪	宍戸機	7月9日	1通	伊達より宮城県へ書取の取図向、早速相認戸田へ相渡。		墨書		
9		小原鉄心書簡 宍戸機宛	小原鉄心	宍戸機	1月4日	1通	昨夕御高話御礼、今日已に御西発遺憾。		墨書		
10		柏村信書簡									
10	1	柏村信書簡 宍戸機宛（封筒）	柏村信	宍戸機	明治7年1月31日	1通			墨書		封筒のみ
10	2	柏村信書簡 宍戸機宛	柏村信	宍戸機	明治19年6月1日	1通	別封は井関氏より請取候処悉皆取計済に付返上仕候。	十八年十月中上京日記 抜書 堀伴成 宍戸宛 明治19年5月12日付、1綴	墨書		
10	3	柏村信書簡 宍戸機宛	柏村信	宍戸機	1月18日	1通			墨書		
10	4	柏村信書簡 宍戸機宛	柏村信	宍戸機	1月31日	1通	昨日は金子頂戴難有奉存候。則証書一葉差出候。		墨書		
11		兼重讓蔵書簡 宍戸機宛	兼重讓蔵	宍戸機	5月24日	1通			墨書		宛名は宍戸備後助（宍戸機の通称）

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
12		川田剛書簡 宍戸機宛	川田剛	宍戸機	5月30日	1通	木戸公神道碑の件	川田到書簡 宍戸宛（6月26日付）、1通	墨書		付属資料は5月30日付川田書簡に同封
13		木戸孝正書簡 宍戸機宛	木戸孝正	宍戸機	7月2日	1通	亡父孝允伝記編纂担当者の件	空封筒（木戸孝允より宍戸宛）、1枚	墨書		
14		黒田清綱書簡 宍戸機宛	黒田清綱	宍戸機	6月25日	1通	見舞状		墨書		
15		児玉少介書簡									
15	1	児玉少介書簡 宍戸機宛	児玉少介	宍戸機	〔文久3年〕	1通	馬関攘夷次第、御使艦馬関御着之事		墨書		封筒は後年（明治）のものか
15	2	児玉少介書簡 宍戸機宛	児玉少介	宍戸機	〔文久3年ヵ〕12月30日	1通			墨書		
15	3	児玉少介書簡 宍戸機宛	児玉少介	宍戸機	9月21日	1通	贈物礼状		墨書		
15	4	児玉少介書簡 宍戸機宛	児玉少介	宍戸機	4月1日	1通	此品不珍品に候へとも御試味被仰付候はは大幸。		墨書		
15	5	児玉少介書簡	児玉少介		16日	1通			墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
15	6	児玉少介書簡 宍戸璣宛	松村少介	宍戸璣	21日	1通	先日17日の御触拝見仕候而より、実に寢食をも安兼候。天下御安心の御一端を片時も早く。		墨書		辰の年
15	7	児玉少介書簡	児玉少介		30日	1通	先日来国内人心益大沸騰。滞府の節御伝聞候鎮静の御内意の趣も、先日国元親友迄申遣候。此節にては主人鎮静、都下風説の趣は御放念奉願候。		墨書		
15	8	児玉少介書簡	児玉少介		5月15日	1通	弊藩の事は奉勅始末並取調書にも明細認有之。攘夷の儀兎角神速御一決。		墨書		前欠、71・74の関連資料か
16	境二郎書簡										
16	1	境二郎書簡 宍戸璣宛	境二郎	宍戸璣	明治16年12月	1通	湯本文彦「送従五位境君辞官帰郷序」		墨書		
16	2	境二郎書簡 宍戸璣宛	境二郎	宍戸璣	明治23年2月8日	1通			墨書		
16	3	境二郎書簡 宍戸璣宛	境二郎	宍戸璣	3月13日	1通		漢詩草稿 2枚	墨書		
17	嵯峨実愛書簡										

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
17	1	嵯峨実愛書簡 宍戸機宛	嵯峨実愛	宍戸機	明治4年5月1日	1通	外国人闇傷一条に付、外務官員英医等明二日第五字発。		墨書		
17	2	嵯峨実愛書簡 宍戸機宛	嵯峨実愛	宍戸機	9月16日	1通	明十七日神爵祭御遥拝朝七時参朝。		墨書		
17	3	嵯峨実愛書簡 宍戸機宛	嵯峨実愛	宍戸機	10月15日	1通	明十六日魯国親王見舞として延遠館へ諸省長次官可行向達し御座候。		墨書		
18		作間一介書簡 宍戸機宛	作間一介	宍戸機	1月17日	1通	別冊履歴書返上		墨書		
19		佐野常民書簡 宍戸機宛	佐野常民	宍戸機	明治27年11月13日	1通	秋季美術展覧会に古画出陳御礼		墨書		
20		沢宣嘉書簡									
20	1	沢宣嘉書簡 宍戸機宛	沢宣嘉	宍戸機	〔明治3年〕11月30日	1通	一条老台相認差出候間御手落被下候可。		墨書		
20	2	沢宣嘉書簡 宍戸機宛	沢宣嘉	宍戸機	〔明治4年〕5月21日	1通			墨書		
20	3	沢宣嘉書簡 宍戸機宛	沢宣嘉	宍戸機	2月16日	1通	今朝御示談申上候草案と撮合仕、別紙更に草稿相認識候。明日は司法省へ可差出と存候。		墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
21		宍戸親基書簡 宍戸璣宛	宍戸親基	宍戸璣	6月11日	1通		印影（宍戸璣）、2枚（5種）	墨書		発信者名は備前（宍戸親基の通称）、宛名は宍戸備後助（宍戸璣の通称）
22		杉四郎書簡 宍戸璣宛	杉四郎	宍戸璣	12月26日	1通			墨書		宛名は山県半蔵（宍戸璣の通称）
23		杉孫七郎書簡									
23	1	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	〔慶応3年〕11月10日	1通	過日將軍も辞職申出、紀州藩台等は王政復古不可就ての建白有之候。薩船又有遷延とても予定の通とは参り兼可申御案候。		墨書		宛名は宍戸備後助（宍戸璣の通称）
23	2	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	明治10年2月17日	1通			墨書		
23	3	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	〔明治10年〕2月21日	1通	九州戦況		墨書		
23	4	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	〔明治10年〕2月22日	1通	九州戦況		墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23	5	杉孫七郎書簡 宍戸機宛	杉孫七郎	宍戸機	明治10年2月23日	1通	鹿児島賊徒熊本迄入、苦戦危急。今度討伐につき、大号令ほか御仰出置内々草案も一見。		墨書		
23	6	杉孫七郎書簡 宍戸機宛	杉孫七郎	宍戸機	〔明治10年〕2月24日	1通	有栖川宮、今夜十時神戸港御発。	宮内庁久留米支庁より戦況報告、1枚	墨書		
23	7	杉孫七郎書簡 宍戸機宛	杉孫七郎	宍戸機	明治10年2月27日	1通	昨日の戦争は官軍大勝利、木の葉迄進撃。賊は肥後土族多加り居候様子。		墨書		
23	8	杉孫七郎書簡 宍戸機宛	杉孫七郎	宍戸機	〔明治10年〕3月8日	1通	熊本戦況		墨書		
23	9	杉孫七郎書簡 宍戸機宛	杉孫七郎	宍戸機	〔明治10年〕3月12日	1通	西南戦争戦況		墨書		
23	10	杉孫七郎書簡 宍戸機宛	杉孫七郎	宍戸機	〔明治10年〕3月17日	1通			墨書		
23	11	杉孫七郎書簡 宍戸機宛	杉孫七郎	宍戸機	明治10年3月22日	1通			墨書		

宍戸磯関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23	12	杉孫七郎書簡 宍戸磯宛	杉孫七郎	宍戸磯	〔明治10年〕5月31日	1通	萩地不平徒昨夜十一時頃警察所へ斬入打込。九州も今以平定不致。木戸氏死去後に付、相談人無之万滞。		墨書		
23	13	杉孫七郎書簡 宍戸磯宛	杉孫七郎	宍戸磯	〔明治10年〕7月5日	1通			墨書		
23	14	杉孫七郎書簡 宍戸磯宛	杉孫七郎	宍戸磯	〔明治14年〕1月19日	1通	岸田明青明日より出足。木戸染井邸碑文之事。昨日宮島誠亭同道、支那公使相尋。		墨書		
23	15	杉孫七郎書簡 宍戸磯宛	杉孫七郎	宍戸磯	〔明治16年〕1月3日	1通	拙生発足の節、横浜へ御出感謝。30日桑港着。本日有栖川宮、二品宮御安着。		墨書		
23	16	杉孫七郎書簡 宍戸磯宛	杉孫七郎	宍戸磯	明治16年10月26日	1通	御陪食被仰付候。		墨書		
23	17	杉孫七郎書簡 宍戸磯宛	杉孫七郎	宍戸磯	〔明治17年ヵ〕2月23日	1通	神殿之事随分御難混と奉存候。		墨書		冒頭欠
23	18	杉孫七郎書簡 宍戸磯宛	杉孫七郎	宍戸磯	〔明治17年ヵ〕3月12日	1通			墨書		

穴戸磯関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23	19	杉孫七郎書簡 穴戸磯宛	杉孫七郎	穴戸磯	〔明治17年ヵ〕3月18日	1通	皇居造営関係		墨書		
23	20	杉孫七郎書簡 穴戸磯宛	杉孫七郎	穴戸磯	〔明治17～18年〕	1通	勘定書		墨書		
23	21	杉孫七郎書簡 穴戸磯宛	杉孫七郎	穴戸磯	〔明治17～18年〕6月24日	1通			墨書		
23	22	杉孫七郎書簡 穴戸磯宛	杉孫七郎	穴戸磯	〔明治17～18年ヵ〕11月7日	1通	高輪井上邸一条、別紙のとおり申越の由。肥田一条、昨朝条公より御内話。岩倉出京。	差出人不明書簡 1通	墨書		
23	23	杉孫七郎書簡 穴戸磯宛	杉孫七郎	穴戸磯	〔明治22年〕2月24日	1通	白根多助七周忌碑文の件		墨書		
23	24	杉孫七郎書簡 穴戸磯宛	杉孫七郎	穴戸磯	明治22年7月3日	1通	水菓紹介		墨書		
23	25	杉孫七郎書簡 穴戸磯宛	杉孫七郎	穴戸磯	〔明治25年〕6月26日	1通	神道碑文活字出来、一部送付。	(1)人名メモ覚書、1枚 ／(2)川田到書簡 6月15日付 穴戸磯宛、1通 ／(3)川田到書簡 6月15日付 杉孫七郎宛、1通	墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23	26	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	1月31日	1通			墨書		
23	27	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	2月15日	1通			墨書		
23	28	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	2月16日	1通	島本忠造材木の始末些困難。		墨書		
23	29	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	2月19日	1通			墨書		宛名は松坪（宍戸璣の号カ）
23	30	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	3月7日	1通	遠州鉦山売却一条		墨書		宛名は潮坪（宍戸璣の号）
23	31	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	3月11日	1通	小早川殿洋行賂の儀		墨書		
23	32	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	3月13日	1通	今朝条公拝謁一先安心之由。山県、小田も井上へ集会に越候。伊藤発途は今日午後四時、明朝十時頃出帆の様子。		墨書		宛名は桂宇（宍戸璣の号カ）
23	33	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	3月16日	1通	木戸孝允伝記編纂の件		墨書		
23	34	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	3月22日	1通			墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23	35	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	3月23日	1通	今午後井上来訪談話の末、彼史局献言一条むつかしき議論なし。大意は献言書は宮内省中に史局を被設度丈之事。		墨書		
23	36	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	4月5日	1通			墨書		
23	37	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	6月11日	1通			墨書		
23	38	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	7月5日	1通			墨書		宛名は宍戸三郎（宍戸璣の通称）
23	39	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	7月10日	1通			墨書		
23	40	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	7月23日	1通			墨書		宛名は潮坪（宍戸璣の号）
23	41	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	8月17日	1通	十二時十五分新橋発汽車にて罷越候。		墨書		
23	42	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	8月27日	1通			墨書		
23	43	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	8月28日	1通	土方大臣より松方大臣へ話候時も承知可致候へ共、五十名程の申込に候各大臣議論して決定に候如何相成・・・		墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23	44	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	9月12日	1通			墨書		
23	45	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	10月2日	1通	高橋翁説諭一条		墨書		
23	46	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	10月10日	1通	郵船相場の件		墨書		
23	47	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	10月13日	1通			墨書		
23	48	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	10月23日	1通			墨書		
23	49	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	11月18日	1通	紀田之事、老台御月給の義等、条公へ申上置候。高橋翁之事、早速井上へ□酌致置候。		墨書		
23	50	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	11月8日	1通	木戸氏より書簡、大村氏記念会済み次第（高輪）出席。	井上馨書簡 11月8日付 杉孫七郎・宍戸璣宛、1通	墨書		
23	51	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	11月23日	1通			墨書		
23	52	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	12月13日	1通			墨書		宛名は潮坪（宍戸璣の号）
23	53	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣	12月28日	1通			墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
23	54	杉孫七郎書簡 宍戸璣宛	杉孫七郎	宍戸璣		1通			墨書		宛名は山形半蔵（宍戸璣の通称）、差出人名は徳輔（杉孫七郎の通称）
24		寺島秋介書簡									
24	1	寺島秋介書簡 宍戸璣宛	寺島秋介	宍戸璣	明治17年6月29日	1通	贈物礼状		墨書		
24	2	寺島秋介書簡 宍戸璣宛	寺島秋介	宍戸璣	明治23年8月9日	1通	負傷見舞		墨書		
25		徳大寺実則書簡 宍戸璣宛	徳大寺実則	宍戸璣	〔明治4年〕3月8日	1通	東国確就職願		墨書		
26		長岡護美書簡 宍戸璣宛	長岡護美	宍戸璣	明治18年11月11日	1通	招待断り詫状		墨書		
27		中島佐衡書簡 宍戸璣宛	中島佐衡	宍戸璣	明治20年11月2日	1通	株券発行の件		墨書		
28		中村二良書簡 宍戸璣宛	中村二良	宍戸璣	明治33年5月5日	1通	夏橙栽培促進協力への感謝状（阿武郡夏橙集談会）		墨書		
29		夏目千比呂書簡 宍戸璣宛	夏目千比呂	宍戸璣	4月6日	1通			墨書		

穴戸磯関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
30		野村素介書簡									
30	1	野村素介書簡 穴戸磯宛	野村素介	穴戸磯	明治17年8月7日	1通	11日柏翁御同来被下候義、尤所望候。		墨書		
30	2	野村素介書簡 穴戸磯宛	野村素介	穴戸磯	明治17年9月13日	1通	明日□岡へ参候時刻は午後二時頃。今夕は小生新橋へは不参。九鬼へも委細相心得置候。		墨書		
30	3	野村素介書簡 穴戸磯宛	野村素介	穴戸磯	明治18年4月17日	1通	銘々既に心組致居事ニ可有之、只今又変換候ては却て各自の差支、先申遣候義は相見合候。		墨書		
30	4	野村素介書簡 穴戸磯宛	野村素介	穴戸磯	明治20年5月1日	1通	三井八郎次郎は六日参上致候との事。例の軸掛は本会に備付之品有之候由。		墨書		
30	5	野村素介書簡 穴戸磯宛	野村素介	穴戸磯	明治20年9月23日	1通	明日は朝食後より御出掛奉待候。		墨書		
30	6	野村素介書簡 穴戸磯宛	野村素介	穴戸磯	明治15年3月21日	1通	拙文明日までに御覧、返送願う。		墨書		
30	7	野村素介書簡 穴戸磯宛	野村素介	穴戸磯	明治22年4月7日	1通	明後九日杉方へ被招候所、主人帰宅少々遅刻、囲碁にて相待候様申越候。		墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
30	8	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治22年5月2日	1通	明日の巢鴨行、差支なし。渡辺、白上兩人には小生より通知。		墨書		
30	9	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治23年8月9日	1通	今日罷出候様御懇示、不得已御断申上候。		墨書		
30	10	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治24年4月26日	1通	筭御礼		墨書		
30	11	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治24年5月4日	1通	田沢方へ問合、主人六日帰京。小川松氏へは成丈早く罷出候様申遣置候。		墨書		
30	12	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治24年1月25日	1通	今回の円左衛門殿には荊妻共ヤリツケラレ候。		墨書		
30	13	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治25年4月9日	1通	小皿は四十枚一組の揃、分散ご容赦。		墨書		
30	14	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治25年12月19日	1通	扱又林友幸に逢杉伝言之趣承候所、御同察の通重要な議案には賛同尽力致置候様云々也。		墨書		
30	15	野村素介書簡 宍戸機宛	野村素介	宍戸機	明治26年9月21日	1通	山田家小嬢入籍の件		墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
30	16	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	明治27年 10月30日	1通	宇品より柿到着、三箱とも腐敗。		墨書		
30	17	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	明治27年 10月31日	1通	今回御滞京中は成べく書画は御求に相成間敷。		墨書		
30	18	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	明治28年 10月13日	1通	油出・沢・高橋来訪により出払い、面会でできず遺憾。		墨書		
30	19	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	明治29年3 月21日	1通	囊物・茶道具店紹介		墨書		
30	20	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	明治29年4 月9日	1通	正木氏の墓表は過刻相認候。明日一時よりの会葬参上仕兼候。		墨書		
30	21	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	1月17日	1通	愛知県令国貞謙平危篤。	覚書、1枚	墨書		封筒消印：明治28年4月9日
30	22	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	2月4日	1通	茶席欠礼詫状		墨書		封筒消印：明治28年3月9日／4月9日付野村素介書簡（請求番号30-24）を同封
30	23	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	3月9日	1通	過る一日、相州辻子へ。平岡は四月上旬、小生本月末帰京。		墨書		封筒消印：明治5年8月

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
30	24	野村素介書簡 穴戸機宛	野村素介	穴戸機	4月9日	1通	十三日午後二時半より御来臨被下度。平岡・木戸・林等へも申遣置候。		墨書		2月4日付野村素介書簡（請求番号30 - 22）に同封
31	東久世通禧書簡										
31	1	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治9年6月1日	1通	西京華族六条有容、神官欠御座候得は御採用相願度。		墨書		
31	2	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治17年12月1日	1通	明日四日三時頃より昇堂可仕。		墨書		
31	3	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治17年12月5日	1通			墨書		
31	4	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治17年3月19日	1通	揮毫御礼		墨書		
31	5	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治18年11月12日	1通			墨書		
31	6	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治25年11月25日	1通	来二十七日山田殿御祭。		墨書		
31	7	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治28年11月22日	1通	展覧会二十六日午後参上。		墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
31	8	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	明治29年11月1日	1通	来八日日曜日娯楽会。		墨書		
31	9	東久世通禧書簡 穴戸機宛	東久世通禧	穴戸機	11月15日	1通	来二十一日娯楽会案内		墨書		
32	土方久元書簡										
32	1	土方久元書簡 穴戸機宛	土方久元	穴戸機	4月17日	1通	先夕は紅葉館に於て御先へ脱走、欠敬多罪。二十一日か二十二日、御確定之処御一答奉煩度。		墨書		
32	2	土方久元書簡 穴戸機宛	土方久元	穴戸機	年月日不明	1通	鯉節進呈。		墨書		
33		平岡通義書簡 穴戸機宛	平岡通義	穴戸機	8月22日	1通	法事通知		墨書		
34		福羽美静書簡 穴戸機宛	福羽美静	穴戸機	明治9年12月9日	1通	其節申上候人物稲葉へ面会依頼承諾に候。	島根県士族石河正養履歴書 明治9年12月、1綴	墨書		
35		細川潤次郎書簡 穴戸機宛	細川潤次郎	穴戸機	〔明治4～5年〕7日	1通	卒院に於ても不相整件も有之、来る十二日頃御開場の御都合付候は幸。		墨書		
36	堀伴成書簡										
36	1	堀伴成書簡 穴戸機宛	堀伴成	穴戸機	明治19年5月13日	1通			墨書		封筒3枚が入れ子状態

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
36	2	堀伴成書簡 宍戸機宛	堀伴成	宍戸機	6月9日	1通			墨書		消印日付：明治19年5月17日
37		前原彦太郎書簡 宍戸機宛	前原彦太郎	宍戸機	10月1日	1通	別当紹介		墨書		
38		松浦詮書簡									
38	1	松浦詮書簡 宍戸機宛	松浦詮	宍戸機	明治22年2月21日	1通	(封筒のみ)		墨書		封筒のみ
38	2	松浦詮書簡 宍戸機宛	松浦詮	宍戸機	〔明治27年ヵ〕11月11日	1通	来二十日午後二時頃御口臨相願度。且二十二日知友同伴御邸の紅葉拝見。		墨書		
38	3	松浦詮書簡 宍戸機宛	松浦詮	宍戸機	1月25日	1通	茶席招待状		墨書		
39		松田道之書簡 宍戸機宛	松田道之	宍戸機	〔明治4年〕10月14日	1通	先日種々伺置候件、平人白洲吟味を廃しく云々之事、至急本府に御指図奉希候。		墨書		
40		村上正信書簡 宍戸機宛	村上正信	宍戸機	嘉永5年8月12日	1通			墨書		
41		毛利元昭書簡 宍戸機宛	毛利元昭	宍戸機	明治30年1月20日	1通	家督相続挨拶状		墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
42		山県有朋書簡 穴戸機宛	山県有朋	穴戸機	11日	1通	別箱只今落手		墨書		
43		山田顕義書簡									
43	1	山田顕義書簡 穴戸機宛	山田顕義	穴戸機	9月5日	1通	珍生社集会、発起人および幹事選定の件		墨書		宛名は潮坪（穴戸機の号）
43	2	山田顕義書簡 穴戸機宛	山田顕義	穴戸機	9月9日	1通			墨書		宛名は潮坪（穴戸機の号）、発信者名は市（山田顕義の通称（市之允））
44		吉田右一書簡									
44	1	吉田右一書簡 穴戸機宛	〔吉田右一〕	穴戸機	11月26日	1通			墨書		
44	2	吉田右一書簡 穴戸機宛	〔吉田右一〕	穴戸機	年 月8日	1通			墨書		
45		楯取素彦書簡 穴戸機宛	〔楯取素彦〕	穴戸機	年月日不明	1通	漢詩		墨書		宛名は敬宇（穴戸機の号）、差出人は哲（楯取素彦の諱（希哲））
46		不明（彦左衛門）書簡 穴戸機宛	彦左衛門	穴戸機	3日	1通			墨書		宛名は備後助（穴戸機の通称）

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
47		不明書簡 宍戸璣・小倉健作宛	不明	山県半蔵（宍戸璣）・小倉健作	1月11日	1通	明日御相对仕度。		墨書		
48		不明（処水）書簡 宍戸璣宛	処水	宍戸璣	4月14日	1通	贈物礼状		墨書		宛名は山県（宍戸璣の通称）
49		不明書簡 宍戸璣宛	不明	宍戸璣	年10月15日	1通			墨書		花押あり
50		不明（武）書簡 宍戸璣宛	不明〔武カ〕	宍戸璣	年月日不明	1通	礼状、松露の調理		墨書		宛名は敬宇（宍戸璣の号）
宍戸璣発信書簡											
51	宍戸璣書簡										
51	1	宍戸璣書簡	宍戸璣		〔慶応2年7月〕8日	1通	知行・役職辞退願		墨書		
51	2	宍戸璣書簡 杉孫七郎宛	宍戸璣	杉孫七郎	〔明治16年〕11月18日	1通			墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
51	3	宍戸璣書簡 柏村数馬宛	宍戸璣	柏村数馬	4月28日	1通			墨書		紙背に柏村数馬書簡 宍戸備後助宛 4月29日付 あり。
51	4	宍戸璣書簡 井関英太郎カ	宍戸璣	井関英太郎カ	5月21日	1通	三丘へ相済之公債、別紙堀伴成之書中にくわしく候間御熟覧被成下候。別紙堀より日記之抜書は旧年応接之しるし置候ものよし。		墨書		
51	5	宍戸璣書簡 坂上忠輔宛	宍戸璣	坂上忠輔	年月日不明	1通		毛利元徳書簡 明治17年4月16日付 宍戸璣宛、1通	墨書		原状は未開封（閲覧提供に際し、国立国会図書館において開封）
51	6	宍戸璣書簡	(宍戸璣)		年月日不明	1通	諸隊の者沸騰の旨趣変転、両事の者人心孤惑、他藩に通じ候。		墨書		
第三者間書簡											
52		秋月種樹書簡 広沢真臣宛	秋月種樹	広沢真臣	12月5日	1通	大橋慎蔵・西京門跡の件		墨書		
53		迂山人書簡 木戸孝允	迂山人	木戸孝允	9月23日	1通	広島着。		墨書		
54		柏村信書簡 井上馨宛	柏村信	井上馨	6月23日	1通	前夜議決之廉々大略上申仕置候。宍戸様両氏御来邸之上從二位公御相談被成下。		墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
55		烏丸光徳書簡 広沢真臣宛	烏丸光徳	広沢真臣	〔明治3年〕5月30日	1通	拝顔は明三十日三字より兵部卿宮、坊城・五辻・平吉同伴可罷在候。		墨書		
56		家老中書簡 浜田家老中宛	(長州藩) 家老中	浜田家老中	年月日不明	1通			墨書		
57		国司壱岐書簡 山県有朋宛	国司壱岐	山県有朋	1月17日	1通	明日から田舎へ、帰宅次第拝音。		墨書		
58		土屋敬書簡 山県有朋ヵ宛	土屋敬	山県〔有朋ヵ〕	年月日不明	1通	近況報告		墨書		
59		長崎省吾書簡 杉孫七郎宛	長崎省吾	杉孫七郎	8日	1通	野村素介履歴書送付。		墨書		
60		中村九郎兵衛書簡 山勝宗衛・高洲又左衛門宛	中村九郎兵衛	山勝宗衛・高洲又左衛門	3月2日	1通	物置手狭につき改築希望	本書簡写（本文7行目以降の写）,1枚	墨書		付属資料中央には修正用紙を留めるこよりあり
61		山県半七書簡 渡辺清右衛門宛	山県半七	渡辺清右衛門	11月27日	1通	私家之叔父百蔵養子之義、百蔵学問成立候節は追々相願上候明倫館講釈御目見等も。		墨書		
蝦夷地巡見関係書類											
62		休明光記附録別巻一件物 三之帳抜書	宍戸璣		安政元年7月22日	1冊			墨書		巻末の署名は山県半蔵（宍戸璣の通称）

穴戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
63		雑録 蝦夷行之節	穴戸璣		安政元年3月28日	1冊			墨書		
64		哈喇呖吐略誌 未定稿	穴戸璣		安政2年	1冊			墨書		実際のタイトルでは「呖」は口編に孚と記されている
65		〔蝦夷地覚書〕	〔穴戸璣〕			7枚		図、1枚	墨書		
維新関係書類											
66		甲子夢話			元治元年	1冊	尊皇攘夷論ほか政情取材の狂文		墨書		
67		廉書（包紙）	穴戸璣		慶応4年10月	1枚			墨書		封筒のみ。穴戸璣による覚書あり
68		〔佐嘉探聞書〕	〔穴戸璣〕		（幕末）	1綴	佐嘉学校の記／佐嘉表承合書追加等		墨書		
69		〔有事大綱〕			〔慶応4年〕5月	1枚			墨書		
70		嘉永三年和蘭船風説書抜写	穴戸璣		嘉永3年8月中旬	1冊			墨書		署名は山県半蔵（穴戸璣の通称）

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
71		癸丑米夷入港記事 (写)	松林乾甫 [写]		(嘉永6 年)	1冊			墨書		
72		奉勅始末			(嘉永～安 政)	1冊			墨書		20枚目欠
73		〔阿米利賀船動静 (草稿)〕	宍戸機		安政4年	1冊			墨書		
74		〔満清講和之弊〕	殷兆鏞・僧 格林/宍戸 機 [校]		万延元年6 月校了	1冊			墨書		
75		新聞雑報			万延元年9 月～10月	1冊	プロシア国使節交易交渉、日米修好 通商条約本書交換使節帰着等		墨書		
76		刻英国志序	宍戸機		文久元年6 月	1綴			墨書		
77		〔魯国応接報告書〕	宍戸機		文久元年6 月	1冊			墨書		
78		擬勅			安政5年4月 23日	1冊	日米間条約への意見書		墨書		
79		勅諭 (写)			安政5年8月 8日	1綴	日米修好通商条約の件		墨書	毛利家編輯 所罫紙	

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
80		魯西亜船往復書面並 対話筆記類上			12月13日 ～30日	1冊			墨書		
81		薩哈連洲魯寇始末 乾	(宍戸機)			1冊	北蝦夷地クシュシュタンニ在留之魯 西亜人共逐帆迄之始末		墨書		
82		〔蘭人日本紀行写〕				1冊	柵氏韻府・補正海陸紀行万国風土記 卷之十七		墨書		図、1枚挟み込みあり
長州藩関係書類											
83		〔書状写〕				1冊	26日（過る4日御書中御連名之御奉 書到来）/18日（若殿様中国路御旅 行）/閏3月6日（2月19日桜田屋敷 新御殿御座所より出火）		墨書		
84		〔書状写〕				4綴	安政5年～慶応2年記事		墨書	毛利家編輯 所罫紙	
85		〔仰出書・書取・内 勅等写〕			文久2年	1冊	浪士鎮撫・公武合体関係		墨書		2冊の和装本が共通の背 表紙で背中合わせに綴 じられている
86		〔意見書草稿〕				1枚	大夫上坂幕府と交渉之事、二州間諜 探索之事		墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
87		〔意見書草稿〕			〔元治元年〕	1枚	京都出兵関係		墨書		
88		擬対問録草稿 付考証			慶応元年7月18日	1冊			墨書		
89		〔諸事覚書〕				17枚	「教学之事」「選挙法之事」等		墨書		90と一括か
90		〔日記断片〕				16枚			墨書		89と一括か
91		〔古記録写〕				1綴	承応年間記事		墨書		
92		〔毛利家事歴聞書〕				1冊	慶長～享保年間の記事		墨書		
93		〔毛利家関係記録写〕				1冊	曾祖父了禅跡目六（永和2 [1376]年）／毛利右馬頭元春申軍忠次第（応安7 [1374]年7月）／毛利右馬頭元春申軍忠事（永和2 [1376]年3月）／毛利少輔大口豊元口覚申（寛正7[1466]年3月）／毛りのちふせうとよもとつゝしんてこん上（文明元[1469]年9月）／元就悴家所之知行之事／高橋領知之事／佐東領知来歴／伴之事／備後知行之事		墨書		
94		秘記			慶応4年1月～7月	1冊			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
95		御内用控				1冊	毛利斉広関係		墨書		
96		八頭山集序（稿）	宍戸機		明治8年2月	2綴	毛利元徳追善詩歌集序文稿		墨書		
97		従一位公爵毛利公墓誌	宍戸機		明治31年3月	5綴	毛利元徳墓誌草稿		墨書		5種あり
98		故長防国従四位上行大膳大夫左近衛権少将邦憲大江公神道碑銘				1綴	大江斉元関係碑文写		墨書	芸窓藏版罫紙	
99		贈従一位毛利公神道碑	川田剛		〔明治25年〕	2冊	碑文写		墨書		2種あり
100		大江広元朝臣所生弁	笠原昌吉		明治24年8月	1冊		覚書、1枚	墨書		江氏家譜改正増補之内
101		故蔵人従五位下大江公之碑				1綴	大江広元関係碑文写		墨書	芸窓藏版罫紙	
102		故長防国主贈従一位毛利公神道碑									
102	1	故長防国主贈従一位毛利公神道碑銘			〔明治25年〕	1綴	毛利敬親没後二十一年碑文写		墨書、印刷		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
102	2	故長防国主贈従一位 毛利公神道碑			〔明治25年〕	1綴	毛利敬親没後二十一年碑文写		墨書		
103		〔大江氏墓誌写〕				1綴	斉房・斉澗・斉元・崇文・敬親 各 関係墓誌写		墨書		
104		〔洞春公元就事歴〕				1冊			墨書		挟み込み資料1枚あり
明治新政関係書類											
105		太政官御沙汰書			〔慶応4年〕4月	1枚			墨書		
106		〔和歌山藩・丸亀藩・徳島藩建白書等写〕			明治4年	1綴	和歌山藩より来状之内（高野山より 激徒）／丸亀藩之事建白（戸籍釐 正・人材教育、兵隊解除） 明治4 年3月27日／徳島藩書白ノ由（国債 整備） 明治4年4月		墨書		
107		〔家禄奉還趣意〕			〔明治6年12月〕	1枚			墨書		
108		〔禄税賦課趣意〕			〔明治6年12月〕	1枚			墨書(青)		
109		〔大教院問題意見書 草稿〕	〔宍戸機〕		〔明治7年ヵ〕	1綴			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
110		急務管見申上候事			〔明治10年ヵ〕	1綴	薩長離るれば天下乱るは今日の大勢。昨夏大隈氏等之島津従二位殿を廃するや、専ら長州人へ結び・・・		墨書		
111		〔政界風刺狂歌〕			〔明治34年〕	1枚	貴族院増税反対、政友会挙動		墨書		
駐清公使時代の書類											
112		照会書（写）			明治12年4月25日～29日	7枚	宍戸機・大清国欽命総理事務両者間往復計4通分	手書罫紙、1枚	墨書	石竹齋罫紙	
元老院関係書類											
113		〔元老院議官心得〕			〔明治18年〕	1冊	議官席順、傍聴人心得、禁苑拝観規則、本院馬車私用心得、婦人服制、他		墨書	元老院罫紙	
114		〔元老院廃止関係書類〕			明治23年10月20日	4点	元老院閉院奉勅（写）／内閣へ事務引渡達（写）／廃官達（写）／奉勅写等送付通知		墨書	元老院罫紙	
宍戸機葬儀関係書類											
115		弔詞	防長学友会 総代		明治34年10月5日	1枚			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
116		吊詞	七日会員		明治34年 10月5日	1枚			墨書		
117		吊辞	山県篤蔵		明治34年	1枚			墨書		
証書類											
118		辞令等			明治3年5 月・10月	3点	辞令（山口県権大参事 明治3年5 月）／辞令（任刑部少輔 明治3年 10月）／位記（従五位 明治3年10 月）		墨書		
119		辞令（任刑部少輔）	右大臣（三 条実美）	宍戸機	明治3年10 月24日	1枚			墨書		
120		位記（従五位）	右大臣（三 条実美）	宍戸機	明治3年10 月24日	1枚			墨書		
121		辞令（免刑部少輔）	太政官	宍戸機	明治4年6月 25日	1枚			墨書		原資料の記載は「刑部 少副」
122		辞令（任司法少輔）	太政官	宍戸機	明治4年7月	1枚			墨書		
123		辞令（任司法少輔）	右大臣（三 条実美）	宍戸機	明治4年7月 9日	1枚			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
124		辞令（制度取調被仰付候事）	太政官	宍戸機	明治4年7月	1枚			墨書		
125		辞令（免制度取調御用）	太政官	宍戸機	明治4年8月12日	1枚			墨書		
126		辞令（任司法大輔）	太政官	宍戸機	明治4年11月4日	1枚			墨書		
127		辞令（任司法大輔）	太政大臣 （三条実美）	宍戸機	明治4年11月4日	1枚			墨書		
128		位記（従四位）	太政大臣 （三条実美）	宍戸機	明治4年12月19日	1枚			墨書		
129		辞令（兼文部大輔）	太政大臣 （三条実美）	宍戸機	明治5年10月25日	1枚			墨書		
130		辞令（御用滞在被仰付候事）	太政官	宍戸機	明治5年5月22日	1枚			墨書		
131		辞令（免司法大輔）	太政官	宍戸機	明治5年5月22日	1枚			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
132		辞令（任教部大輔）	太政官	宍戸機	明治5年5月24日	1枚			墨書		
133		辞令（任教部大輔）	太政大臣 （三条実美）	宍戸機	明治5年5月24日	1枚			墨書		
134		辞令（依願免文部大輔兼官）	太政官	宍戸機	明治6年9月27日	1枚			墨書		
135		辞令（除服出仕）	太政官	宍戸機	明治7年3月19日	1枚			墨書		
136		辞令（明治十年一月大和、京都市幸供奉）	太政官	宍戸機	明治9年12月5日	1枚			墨書		
137		辞令（免大和及京都市幸供奉）	太政官	宍戸機	明治10年1月12日	1枚			墨書		
138		辞令（任議官）	太政大臣 （三条実美）	宍戸機	明治10年1月16日	1枚			墨書		
139		辞令（年給三千五百円下賜）	太政官	宍戸機	明治10年1月16日	1枚			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
140		辞令（京都被差遣候事）	太政官	宍戸機	明治10年6月14日	1枚			墨書		
141		辞令（山口県江被差遣候事）	太政官	宍戸機	明治10年6月18日	1枚			墨書		
142		辞令（清国在勤被仰付候事）	太政官	宍戸機	明治12年3月8日	1枚			墨書		
143		辞令（任特命全権公使）	太政大臣 （三条実美）	宍戸機	明治12年3月8日	1枚			墨書		
144		辞令（清国在勤二等官年俸下賜）	太政官	宍戸機	明治12年3月8日	1枚			墨書		
145		勲記（勲二等、旭日重光章）		宍戸機	明治12年3月26日	1枚			墨書、印刷		御名御璽あり
146		辞令（一等官相当一年俸下賜）	太政官	宍戸機	明治15年7月26日	1枚			墨書		
147		辞令（補宮内省出仕）	太政大臣 （三条実美）	宍戸機	明治15年8月12日	1枚			墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
148		辞令（年俸四千円下賜）	太政官	穴戸機	明治15年8月12日	1枚			墨書		
149		辞令（皇居造営事務副総裁）	太政官	穴戸機	明治15年8月17日	1枚			墨書		
150		辞令（任内閣委員）	太政官	穴戸機	明治18年4月4日	1枚	醤油税則菓子税則制定の件元老院議定に付され候につき		墨書		
151		辞令（任参事院議官）	太政大臣 （三条実美）	穴戸機	明治17年4月12日	1枚			墨書		
152		辞令（一等官相当年俸四千五百円下賜）	太政官	穴戸機	明治17年4月12日	1枚			墨書		
153		辞令（財務部勤務）	参事院	穴戸機	明治17年4月15日	1枚			墨書		
154		辞令（宮内省御用掛兼勤）	太政官	穴戸機	明治17年4月17日	1枚			墨書		
155		辞令（審理委員）	参事院	穴戸機	明治17年5月1日	1枚	鳥根県令及同県会具状地方税中予備費支出ノ件審理委員		墨書		
156		下賜状（銀盃一個）	宮内省	穴戸機	明治17年6月30日	1枚	皇城炎上に際し百円献納につき		墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
157		辞令（任財務部長）	参事院	穴戸機	明治17年 10月7日	1枚			墨書		
158		辞令（任内閣委員）	太政官	穴戸機	明治17年 12月22日	1枚	17年第12号布告追加の件元老院議定に付され候につき		墨書		
159		辞令（任審理委員）	参事院	穴戸機	明治18年5 月19日	1枚	大分県令及同県令具状監獄費追払の件		墨書		
160		辞令（任内閣委員）	太政官	穴戸機	明治18年5 月26日	1枚	政府紙幣交換の件元老院議定に付され候につき		墨書		
161		辞令（任内閣委員）	太政官	穴戸機	明治18年7 月2日	1枚	明治10年第79号布告中改正の件元老院議定に付され候につき		墨書		
162		位記（叙正四位）	太政大臣 （三条実美）	穴戸機	明治18年 10月1日	1枚			墨書		
163		辞令（任内閣委員）	太政官	穴戸機	明治18年 11月12日	1枚	貨幣条例中補助銀貨品位公差改正の件布告案元老院議定に付され候につき		墨書		
164		辞令（任元老院議員）	内大臣（三条実美）	穴戸機	明治18年 12月22日	1枚			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
165		辞令（一等官相当年俸四千円下賜）	内大臣（三条実美）	宍戸機	明治18年12月22日	1枚			墨書		
166		位記（叙従三位）	内閣総理大臣（伊藤博文）	宍戸機	明治19年10月20日	1枚			墨書		
167		辞令（任高等法院陪席裁判官）	内閣	宍戸機	明治20年2月25日	1枚			墨書		
168		辞令（華族ニ被列候事）	宮内省	宍戸機	明治20年5月24日	1枚			墨書		
169		辞令（東京府貴職被仰付候事）	宮内省	宍戸機	明治20年6月15日	1枚			墨書		
170		任命書（日本赤十字社総裁（彰仁親王））	日本赤十字社総裁（彰仁親王）	宍戸機	明治21年7月4日	1枚			墨書、印刷		
171		勲記（勲一等）		宍戸機	明治22年6月19日	1枚		筒、1本	印刷		
172		大日本帝国憲法発布記念章授与之証	賞勲局	宍戸機	明治22年11月25日	1枚			墨書、印刷		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
173		勅宣			明治23年9月25日	1枚	元老院廃止慰労会開催		墨書		
174		辞令（錦鶏間祇候）	宮内省	宍戸機	明治23年10月20日	1枚			墨書		
175		下賜状	内閣	宍戸機	明治23年10月21日	1枚	在職中格別勲励につき		墨書		
176		辞令（依願元老院議官免）	内閣	宍戸機	明治24年3月25日	1枚			墨書		
177		下賜状（木杯）	賞勲局	宍戸機	明治25年1月11日	1枚	相模国海綾郡大磯町字南下失火の節罹災者救助費寄附につき		墨書		
178		下賜状（木杯）	賞勲局	宍戸機	明治25年6月15日	1枚	武蔵国北豊島郡巢鴨町仰高小学校移転並建築費寄附につき		墨書		
179		大日本帝国大婚二十五年祝典之章之記	賞勲局	宍戸機	明治27年3月9日	1枚			墨書、印刷		
180		〔亀甲竹獻納礼状〕	宮内大臣	宍戸機	明治27年3月9日	1枚	大婚二十五年祝典につき献納		墨書		
181		位記（位一級被進）	宮内省	宍戸機	明治27年5月21日	1枚			墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
182		位記（叙正三位）	宮内大臣 （土方久元）	宍戸璣	明治27年5月21日	1枚			墨書		
183		下賜状（銀杯一組）	賞勲局総裁 （大給恒）	宍戸璣	明治29年3月29日	1枚	第7回帝国議会励精につき		墨書		
184		下賜状（木杯一個）	賞勲局総裁 （大給恒）	宍戸璣	明治32年1月13日	1枚	明治31年東京府北豊島郡巢鴨町仰田高等小学校増築費寄附につき		墨書		
185		位記（位一級被進）	宮内省	宍戸璣	明治34年9月30日	1枚			墨書		
日記											
186		芸窓日録 五	〔宍戸璣〕			16枚	（天保9年～10年カ）		墨書		後欠
187		敬字略日録草	宍戸璣		嘉永元年12月6日～2年3月1日	1冊	嘉永元年12月6日～2年3月1日	覚書、1枚	墨書		紙背の文字による裏移りあり
188		〔手記〕	宍戸璣		嘉永7年1月18日～29日	1点	阿米利賀船動静		墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
189		北陸日誌 草稿	穴戸機		〔安政元年〕6月12日～11月28日	1冊			墨書		
190		日誌	〔穴戸機〕		〔安政元年8月〕21日～11月27日	1冊	蝦夷巡見中	覚書、5枚	墨書		
191		滞崎雑録之一	穴戸機		〔安政2年～3年〕	1冊			墨書		
192		滞崎雑録ノ二	穴戸機		〔安政2年～3年〕	1冊			墨書		
193		不急察録	穴戸機		安政3年5月	1冊	滞崎雑誌		墨書		
194		〔日記〕	〔穴戸機〕		万延元年7月1日～文久元年8月23日	1冊		覚書、4枚	墨書		
195		〔日記〕	穴戸機		文久2年1月～11月	1冊		日程表等、3枚	墨書、印刷	日記帳	
196		〔日記〕	穴戸機		文久2年12月～元治元年7月	1冊		日程表等、2枚	墨書、印刷	日記帳	

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
197		〔日記〕	宍戸璣		元治元年8月1日～慶応3年12月30日	1冊		覚書、2枚	墨書、印刷	日記帳	
198		〔旅日記〕	〔宍戸璣カ〕		明治3年9月27日～29日	1枚	絵入りの福山（韮港）滞在記		墨書		
199		〔日記〕	宍戸璣		明治4年1月～明治6年12月	1冊			墨書、印刷	日記帳	
200		日載	〔宍戸璣〕		11月3日～11月11日	1冊			墨書		
201		長齋日録	山県文憲		文化12年1月1日～12月31日	1冊			墨書		
202		≡（きへん+害）所私記			文政9年8月1日～10年4月22日	1冊	従叔父馬君遊学東都		墨書		
203		日載	孝諱		元治元年12月15日	1冊			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
204		棧雲峡雨日記			明治9年5月 2日～8月 13日	1冊	清国公使館員（明治9年1月赴任）による旅行記。		墨書	金花堂野紙	
山県太華（半七）関係書類											
205		重建明倫館記	山県太華		嘉永2年3月	1冊			墨書		
206		鄙見一通	山県太華			1冊		覚書、1枚	墨書		
207		非聖弁 全	〔山県太華〕			1冊			墨書		
208		儀礼備考 貳	山県太華			1冊			墨書		
209		儀礼備考 参	山県太華			1冊			墨書		
210		甲冑考	〔山県太華〕			17枚			墨書		
211		凶服考 全	〔山県太華〕			1冊			墨書		
212		周官定説 三	山県太華			1冊			墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
213		会場文稿			文政3年3月 26日	1冊	漢詩集		墨書		
214		〔漢詩〕	山県太華		安政4年8月 7日	1枚			墨書		
215		〔漢詩〕	山県太華		文政10年1 月19日	1枚	徂徠物先生百年之雙忌乃述追慕		墨書		
216		〔詩文写〕	松田信順		（文化～文 政年間）	1冊	須崎九霞楼に寄せる。山県太華あて 詩文作成依頼の参考資料		墨書		
217		本草啓蒙				1冊			墨書	蕉窓書室野 紙、養素齋 藏野紙	
218		入学正路 全	山県太華		文化14年秋	1冊			墨書	蕉窓書室野 紙	
219		論語草稿 十二	山県太華			1冊			墨書		
220		論語折衷 四	山県太華			1冊			墨書		
221		廿一史抄 二	山県太華			1冊			墨書		

穴戸功男関係書類

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
222		〔毛利功男戸籍抄本写〕			明治32年4月21日	1枚			墨書		
223		〔宗秩寮設置にあたり華族一同へ賜りたる勅語〕			明治43年8月31日	1枚		①華族会館理事より送付状 明治43年9月、1通／②筒、1本	印刷		
224		勲記			明治43年10月8日	1枚	ベルギー-CHEVALIER DE L'ORDRE SE LÉOPOLD勲章		印刷・墨書		穴戸功男宛
225		外国勲章受領佩用願（草稿）	穴戸功男		明治43年12月22日	1枚	白耳義レオポール二世第五等勲章		墨書	宮内省野紙	
226		大日本帝国外国勲章佩用免許証	賞勲局総裁（正親町実正）	穴戸功男	明治43年12月26日	1枚	白耳義レオポール二世第五等勲章		印刷		
227		イタリア外務大臣書翰			大正2年1月20日	1枚	サン・モーリス・エ・ラザル第五等勲章授与の件		印刷＋ペン		穴戸功男宛
228		大日本帝国外国勲章佩用免許証	賞勲局	穴戸功男	大正2年4月26日	1枚	伊国サン・モーリス・エ・ラザル第五等勲章		印刷＋墨書		
229		勲記		穴戸功男	大正3年3月31日	1枚	伊国S.S.MAURIZO E LAZZARO勲章		印刷＋墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
230		勲記		宍戸功男	5982	1枚	仏国ORDRE DE L'ÉTOIRE NOIRE 勲章		印刷 + ペン		
231		外国勲章受領佩用願 (草稿)	宍戸功男		大正（5 年）	1枚	仏国フィシェー・ド・ロルドル・ ド・レトアル・ノアール勲章	勲記日本語訳、1枚	墨書	陸軍野紙	
232		外国勲章佩用免許証	賞勲局	宍戸功男	大正5年11 月28日	1枚	仏国フィシェー・ド・ロルドル・ ド・レトアル・ノアール勲章		印刷 + 墨書		
233		ベルギー外務大臣書 翰			大正7年11 月5日	1枚	レオポール二世第五等勲章授与の 件	勲記日本語訳、1枚	印刷 + ペン		宍戸功男宛
234		〔漢詩〕	李学詩		昭和8年10 月	1枚			墨書		騎兵中佐第八連隊長宍 戸功男に寄せる
235		〔モンゴル語掛軸〕	哈欽蘇栄			2軸		日本語訳、1枚	墨書		騎兵中佐第八連隊長宍 戸功男に寄せる
236		辞令（東洋拓殖株式 会社事務嘱託）	東洋拓殖株 式会社総裁	宍戸功男	昭和11年4 月20日	1枚			墨書		
237		辞令（南洋拓殖株式 会社設立事務所事務 嘱託）	南洋拓殖株 式会社設立 事務所	宍戸功男	昭和11年7 月29日	2枚		辞令（昭和11年7月29 日付 総務課勤務）、1 枚	墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
238		辞令（台湾拓殖株式会社設立事務所事務嘱託）	台湾拓殖株式会社設立事務所	宍戸功男	昭和11年7月30日	1枚			墨書		
239		宍戸功男履歴書			昭和（11年カ）	1綴	公務関係のみ		墨書		
240		辞令（東洋拓殖株式会社事務委嘱解除）	東洋拓殖株式会社総裁	宍戸功男	昭和12年2月13日	1枚			墨書		
241		辞令（東洋拓殖株式会社事務嘱託）	東洋拓殖株式会社総裁	宍戸功男	昭和12年6月10日	1枚			墨書		
242		推薦状	松永安左工門	宍戸功男	昭和14年8月4日	1枚	東洋電化工業株式会社顧問		タイプ		
243		推薦状	三好一	宍戸功男	昭和14年8月7日	1枚	日本学生馬術協会顧問		タイプ		
244		感謝状	陸軍大臣（畑俊六）	宍戸功男	昭和15年7月	1枚	国防資材献納につき		墨書		
245		貴族院議員選挙当選通知	子爵選挙管理官（青木信光）、尚友会幹事	宍戸功男	昭和16年4月12日	3枚		尚友会幹事書簡 宍戸功男宛（昭和16年4月12日付）、1通	タイプ・墨書	伯子男爵選挙管理者用箋、他	

穴戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
246		委嘱状	大日本学徒 体育振興会 理事長（小 笠原道 生）、同会 長（橋田邦 彦）	穴戸功男	昭和17年9 月21日	2枚	大日本学徒体育振興会騎道部委員長		タイプ	大日本学徒 体育振興会 用箋、他	
247		委嘱状	翼賛政治会	穴戸功男	昭和17年 11月10日	1枚	戦力増強に関する臨時協議会議員		タイプ		
学問関係書類											
248		任份大学鈔	穴戸璣		嘉永2年3月 中旬	1冊			墨書		
249		敬宇雜記	穴戸璣		嘉永2年6月	1冊		覚書、2枚	墨書		白紙多
250		論語朱註備考	穴戸璣		嘉永2年8月	1冊			墨書		
251		懲警録稿	穴戸璣		嘉永3年4月 1日	1冊	漢文覚書	小紙片、1枚	墨書		
252		敬宇雜載	穴戸璣		嘉永3年11 月9日	1冊			墨書		
253		備忘筆記	穴戸璣		嘉永5年2月	1冊			墨書		

穴戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
254		雑録	穴戸璣（華陰堂主人）		嘉永5年3月	1冊			墨書		
255		雑記	穴戸璣		嘉永6年秋	1冊			墨書		
256		采芹余暇雑録	[穴戸璣]		嘉永6年10月9日～	1冊			墨書		
257		敬宇掌記	穴戸璣		安政3年	1冊			墨書		
258		丁戊座右	穴戸璣		安政4年～5年	1冊			墨書		
259		困学備忘 儻語	穴戸璣			1冊			墨書		
260		雑録			安政元年12月中旬	1冊			墨書		
261		蓄疑録				1冊			墨書	芸窓藏版野紙	
262		南柯余篇拔萃	安積良斎			1冊			墨書		
263		良斎先生行状材料	荘原和		(明治末カ)	1冊	良斎安積祐助伝記材料		墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
264		徂徠先生学則解	三浦丹治		延享元年5月	1冊			木版	高山房梓野紙	高山房蔵板、須原屋小林新兵衛梓
265		米観録	藤沢甫			1冊			墨書		
266		徂徠集 紀聞				1冊	履文談卷之一（亀井昱元著）		墨書		
267		松陰先生略伝	晩門頑生冷皇御民		明治元年	1冊			墨書		
268		昌平坂学問御試次第書・水府御国許二而御触書並弘道館掟書写・若松学制				1冊			墨書		
269		紀近臣肄業之盛	土井有恪		（幕末カ）	1冊			墨書		有造館関係
270		学宮文稿	林尚行（書記）		安政6年8月21日	1冊	文題「書六合叢談後」による課題文（漢文）綴		墨書		
271		洋宮文稿	宍道健（書記）		安政6年4月21日	1冊	文題「王覇弁」による課題文（漢文）綴		墨書		
272		民信之説				1綴			墨書		
273		書序非孔子筆				1冊			墨書		

中央関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
274		関孟子				1冊			墨書		
275		陸宣公奏議									
275	1	陸宣公奏議 八				1冊			木版		
275	2	陸宣公奏議 九				1冊			木版		
275	3	陸宣公奏議 十				1冊			木版		
275	4	陸宣公奏議 十二				1冊			木版		表紙には「議奏」と記載あり
275	5	陸宣公奏議 十四				1冊			木版		表紙には「四」と記載あり
276		〔孝教（写）〕				1冊			墨書	蕉窓書室野紙	
277		公治 雍也 論語艸高五				1冊			墨書	蕉窓書室野紙	論語写
278		東萊文論 単	足立敬 [写]		嘉永4年5月 19日	1冊			墨書		

中央機関関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
279		海国図志 三十九				1綴	美里苟国総記		墨書		
280		〔漢文写〕				1冊	楽毅仕魏為使・・・		墨書		
281		林陰堂図書				1冊			墨書		
282		〔漢文覚書〕				1冊			墨書		
283		〔漢文覚書〕			安政元年冬	1冊			墨書		
284		〔漢文覚書〕				6枚			墨書	蕉窓書室野紙	「春秋」等
285		〔漢文覚書〕				1冊			墨書		
286		〔漢文覚書〕				1綴			墨書		
287		〔漢文覚書断片〕				43枚 + 1綴			墨書		
288		〔漢語覚書〕				1冊		草稿（挟み込まれていたもの）、1枚	墨書		絵入り
289		〔音韻覚書〕				1冊			墨書		

穴戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
文芸関係書類											
290		敬宇先生詩艸	穴戸璣		弘化4年9月	1冊		「敬宇」は穴戸璣の号	墨書		
291		業余漫吟稿草	(穴戸璣)		嘉永元年3 月上旬	1冊	漢詩草稿		墨書		
292		惜陰窓鷄肋文章	穴戸璣		嘉永元年～ 2年	1冊			墨書		漢文草稿
293		潮坪先生遺稿類	穴戸璣			14枚、2綴		「潮坪」は穴戸璣の号	墨書		藻淵雜拾 嘉永3年8月 1冊／備忘筆記 嘉永5 年閏2月 1冊／漢詩稿 12枚／漢詩稿 1枚
294		田舎記	穴戸璣		安政2年	1枚			墨書		
295		敬宇雜録	穴戸璣		安政3年	1冊	武家奇談類		墨書		
296		骨董稿	穴戸璣		安政6年	1冊	漢詩透き写しカ		墨書		「退一」は穴戸璣の号
297		穴戸序文	穴戸璣		明治26年5 月	1綴	木戸孝允死去に伴う刊行物序文		墨書		
298		招賢閣相見図辞	穴戸璣		明治26年7 月	1枚			絹本墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
299		小早川隆景伝（草稿）	宍戸機		〔明治30年〕	1冊		〔梨羽景介〕書翰 〔明治30年〕9月21日 宍戸機宛、1通	墨書		
300		〔漢詩稿〕	宍戸機			4枚			墨書		
301		老のくりこと（写）			天保12年	1冊			墨書		識語：天保辛丑夏四月 上澣 大府侍読成島翠 麓撰／辛丑蒲月念五 清口識／水無月のつこ もり 思散
302		広瀬行之滑稽 恵方道しるへ	向井軒安穴 〔著〕・流 瓢堂軽浮 〔関〕・洒 落亭似狸 〔補〕		嘉永4年	1冊			墨書		
303		読佳人伝				1冊			墨書	春秋園野紙	
304		〔戦国・諸国漫録〕				1冊			墨書		
305		土蜘蛛				1冊			墨書		謄本

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
306		九霞楼眺望之趣書並 画図／九霞楼歌之写	劉元高		文政元年8 月	1冊			墨書		
307		月卿雲客妬歌合・十 八番歌合（写）				1冊	月卿・・・ 建曆3年間9月19日開催／ 十八番・・・ 正元2年仲春開催		墨書		
308		古歌貼交				6組			墨書		
309		〔和歌短冊〕	隆彦			1枚	眼鏡恵贈御礼		墨書		
310		〔和歌〕	電翁			1枚			墨書		
311		李滄溟文選 一				1冊			墨書		
312		石鼎連句詩序・石鼎 連句詩				1綴			墨書		
313		東原雑集	山県東原		寛政6年～9 年	1冊			墨書		
314		錦城百律	大田元貞			1冊			墨書		
315		栗山堂文集（写）	柴野栗山			1冊			墨書		栗山は江戸時代の漢詩 人
316		栗斎記	宮川視明			1冊			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
317		橘窓茶話	東伯陽甫			1冊			墨書		
318		杏花春雨楼記				1冊			墨書		
319		順正書院記	斎藤正謙 [撰]		嘉永5年正月	1枚		漢詩文・狂歌 1枚 / 千葉清之助書翰 12月 12日 山県半蔵宛 1 通	墨書	有造館罫紙	有造館関係。1字分切抜 箇所あり
320		田峻野調				1冊			墨書		
321		徒舗餼録			嘉永7年	1冊		漢詩稿、2枚	墨書		
322		途中詩簿	松峰信		弘化3年	1冊			墨書		
323		会稿			年2月11 日	1冊			墨書		
324		腹稿				1冊			墨書		
325		鄙稿				1冊	加藤清正画像記、岳飛論、藤原藤房 論、偶閑史作甲越二公歌、謁楠河州 公墓引		墨書		
326		〔叙文稿〕				3枚			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
327		〔漢詩稿〕	河田烈・青浦誠ほか			5枚			墨書		
328		〔漢詩稿〕	川田剛ほか			6枚			墨書		
329		〔漢詩稿〕	十州ほか			5枚			墨書		
330		〔漢詩稿〕	球湖・龍山人ほか			5枚			墨書		
331		〔漢詩稿〕				1枚			墨書		
332		〔漢詩稿〕	大島正人			2枚			墨書		
333		〔漢文草稿〕			明治10年 11月10日	1枚	周布公平に寄せる		墨書		
334		〔漢詩文断片〕				17枚			木版＋墨書		
宍戸家関係書類											
335		〔宍戸機関係文書書翰目録〕				5枚			鉛筆		
336		〔印影二十種（宍戸機）〕				1枚			印影		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
337		〔印影五種（宍戸機）〕				3枚（封入り）			印影		
338		〔印影〕	蔵六			1枚（封入り）			印影		
339		水精印	中井兼之			2枚（封入り）	印影		印影		
340		蔵書目録				1冊	安政2年宍戸機改訂	朱紙、1枚（本文中に挟み込まれていたもの。ごく小さくちぎって目印として本文中に貼り付けて使用か）	墨書		文字の上の朱色の小片は、目印のために貼られたものか
341		別荘庭園樹木大略			明治40年3月5日	4枚			墨書		
342		巢鴨ノ千年松			明治30年12月以降	1枚	宍戸邸内松木の由来		墨書		
343		潮坪開平方図	宍戸機		明治7年6月2日	2枚（封入り）			墨書		
その他の書類											

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
344		習志野原地名の記	福羽美静		明治6年5月 13日	1枚			活版		
345		扇のことば	福羽美静 [述]		明治26年8 月	1冊			木版		
346		大道訓	福羽美静		明治28年1 月1日	1冊			活版		
347		教育日本魂	福羽美静		明治28年6 月	1冊	福羽美静短歌、「人々志操を磨くべし」		木版	元々居藏版 用紙	朱印：元々居随筆中
348		教育日本魂	福羽美静		明治28年夏	1綴	支那婦人の靴を見て		印刷	元々居藏版 用紙	朱印：元々居随筆中
349		詠人道歌並短歌	福羽美静			1冊			木版		
350		人の道早わかり	福羽美静 (硯堂老人)			1枚			活版		
351		古鐘考証	福羽美静			1冊		古鐘写真 1枚 / 封筒 1枚 / 覚書 1枚	墨書		
352		風月往来	海谷清丸		(江戸期)	1冊	書翰文例集		墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
353		新撰古筆名葉集			安政5年	1冊			木版		
354		身体保全法	守田宝丹		明治28年5月16日	1冊		袋 1枚	印刷		
355		修成講社方法心得大意	新田邦光		明治6年9月	1冊			木版		
356		〔大正天皇・皇后真影〕	平井武雄		大正2年1月1日	1枚			印刷		時事新報附録
357		明状元図考 卷上	顧鼎臣 他			1冊			木版		豆本
358		掌中新撰年表（袋）			文久年間	1枚			木版		本体欠（袋のみ）。裏に宍戸機による由来書あり
359		〔刀剣覚書〕				1枚			墨書		裏面：地図（大阪案内独巡り）
360		米芾宮墨跡				1冊			墨書		
361		仁和故宮御方御直書写				1枚			墨書		
362		周府大浜塩釜祝詞碑				2枚	碑文写		墨書	榕所藏版罫紙	

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
363		小湊伊勢翁墓誌銘				1枚			墨書	在清国日本公使館	
364		〔嘉永三年庚戌四月於伊勢御祈之御教書写 他〕				1綴			墨書	榕所藏版罫紙	
365		宇部惣鎮守琴崎八幡宮御由緒	七見帯刀藤原当統（神主）		文化11年5月1日	1冊			墨書		
366		〔猛夏御神衣祭資料〕	夏目千尋		明治7年4月5日	5枚	長歌・短歌／大神宮諸雜支記（写）／浜名湖周辺地勢図		墨書		
367		今之樂由古之樂説				1冊			墨書		
368		一君一民弁 完	近藤芳樹			1冊			墨書		
369		易論				1綴		覚書、1枚	墨書		
370		〔覚書〕				1冊	書籍目録・小幡印紋洋布控帖写		墨書		
371		〔覚書断片〕				6枚			墨書		
372		空封筒	島地黙雷			1枚			墨書		表書：追悼燕調

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
373		空封筒				1枚			墨書		表書：「金千円」
374		〔申達書写〕				1枚	義輝→小早川又四郎（二月二十日） /親綱・敦通・晴冬→徳善院（五月二十四日）		墨書		
375		赤間関表唐船漂来三時覚書			享保2年5月	1冊			墨書		
376		天下御制法御ヶ條写	信久 写		享保9年3月	1冊			墨書		
377		御書付 二			明和年間	1冊	江戸期公文書写		墨書		
378		御書付 三			明和年間	1冊	江戸期公文書写		墨書		
379		家斉公御転任之式	長齊		文化13年6月	1冊			墨書		
380		文政七のとし文月齋元公御代始乃御意御書附			文政7年7月	1冊			墨書		
381		御触御沙汰書の控			天保12年	1冊			墨書		
382		〔寄進状等写〕	楊少棠・江星畷・程子延		（嘉永～安政年間）	1冊			墨書		4件

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
383		寄場人足取扱方手続書				1冊			墨書		
384		御赦宥御沙汰書写				1冊			墨書		表紙注記：或霜月十一日松平春岳直々渡之
385		〔政論（写）〕	板倉勝明・安部正弘			1冊			墨書		
386		〔御印鑑発行願〕	神杉甚兵衛・井上勝之丞		〔慶応4年カ〕3月	1枚			墨書		藤村嘉兵衛宛
書画											
387		畫	宍戸機		明治16年8月	1軸			墨書		
388		畫	宍戸機			3枚	明治12年12月「見垣一方人」/明治13年12月「見垣一方人」（2枚）		墨書		
389		畫	宍戸機			4枚	明治31年春「潮風弄月」（高大主人囑）/明治31年春「我争人必争雖・・・」（竹内老兄雅囑）/明治31年春「唾面自乾・・・」（垣石老兄雅囑）/明治31年4月「起死回生」（竹内老兄雅囑）		絹本墨書		

宍戸璣関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
390		晝	宍戸璣			4枚	明治元年12月「潮坪草蘆」/明治12年12月23日「獄色江声」（春圃盟台別業酒間書）/明治16年9月「謹勤和・・・」（為笠松雅契囑）/年月日不明「花落家口・・・」		絹本墨書		
391		晝	宍戸璣			4枚	「不近人情・・・」/「是非場参出・・・」/「天地四時之気・・・」/「籠辱不驚・・・」		墨書		
392		晝	宍戸璣			4枚	明治8年8月23日「世事有千変」/「世路如冥・・・」/「世道不憐・・・」/「點破無稽・・・」		墨書		
393		晝	宍戸璣			5枚	「花開花落七十春・・・」/「英風瀟洒・・・」/慶応4年3月「風顛月痴」/慶応4年3月「楽天知命」/明治3年初秋「野桃含笑・・・」		墨書		
394		晝	宍戸璣			5枚	明治11年7月21日「口離城市・・・」/「当作如是観」/「搔首問青天」/「世事問樵客」/「時還読我書」		墨書		
395		晝	宍戸璣			5枚	明治21年清明「洗硯魚呑墨」/明治16年7月「積学有功能・・・」/明治8年2月立春「敬神愛国之旨・・・」/明治22年7月「金井君之恭示・・・」/「半搦月明・・・」		墨書		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
396		畫	穴戸機			3枚	明治17年秋日「弗慮胡獲」/明治17年6月「山高月小水落石出」/明治11年1月「緑天居」		墨書		
397		画賛	穴戸機			1軸	竹図		墨書		
398		画賛	穴戸機			5枚			墨書		
399		水墨画	穴戸機			5枚	蘭図		墨書		
400		文晁粉本				6枚			墨書		
401		畫	山県太華			1枚			絹本墨書		
402		畫	柴野栗山			1枚	「松蔭」	筒（蓋なし）、1本	絹本墨書		
403		畫	高蔭			1軸	明治天皇御製和歌		絹本墨書		高蔭：前御歌所録事
404		畫				1枚	和歌（詠寄月眺望）	筒、1本	墨書		
405		畫	福羽美静・ 近藤芳樹			2枚			墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
406		畫	伊達宗紀・ 小島成斎・ 細川潤			3枚			墨書		
407		畫	今北洪川カ			3枚			墨書		
408		畫	梅岡			1枚			絹本墨書		
409		畫	岡田馨 ほか			6枚			墨書		
書簡（旧番外）											
5001		東里子書簡 宍戸幾子宛	東里子	宍戸幾子	大正12年1月	1通	賀状		墨書		
5002	跡見玉枝書簡										
5002	1	跡見玉枝書簡 宍戸幾子宛	跡見玉枝	宍戸幾子	明治43年4月19日（消印）	1通	肉筆画（竹の子）		墨書		
5002	2	跡見玉枝書簡 宍戸幾子宛	跡見玉枝	宍戸幾子	明治45年1月1日	1通	賀状、肉筆画（鶴）		墨書		

宍戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
5002	3	跡見玉枝書簡 宍戸幾子宛	跡見玉枝	宍戸幾子	大正3年1月1日	1通	賀状、肉筆画（鳥居）		墨書		
5002	4	跡見玉枝書簡 宍戸幾子宛	跡見玉枝	宍戸幾子	1月1日	1通	賀状、肉筆画（梅）		墨書		
5002	5	跡見玉枝書簡 宍戸幾子宛	跡見玉枝	宍戸幾子	年月日不明	1通	肉筆画（雨）		墨書		
書類（旧番外）											
6001		畫	毛利鈺子			1枚	「菊松多喜色」		墨書		
6002		画賛（寄書）				2枚			墨書		
6003		日本画	玉瑛			2枚	柳に桜/撫子にあめんぼ		彩色		
6004		日本画	玉蘭・玉香			1枚	柿に鳥		彩色		
6005		日本画	跡見玉枝			1枚	宝珠に海草		彩色		
6006		日本画	玉李			1枚	蟹に海草籠		彩色		
6007		日本画				1枚	富士と松原		マクリ		
6008		日本画				5枚	花鳥画		彩色		

穴戸機関係文書（その2）目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	用紙	備考
6009		日本画	忠敦			1枚	観菊老人		絹本彩色		
6010		日本画	穴戸幾子			1枚	牡丹に蝶と猫		絹本彩色		
6011		書（扇面）	源文雄			1枚			墨書		扇骨なし
6012		日本画（扇面）				1点			墨書		カナメなし
6013		日本画（扇面）	跡見玉枝			1枚			彩色		扇骨なし
6014		和歌色紙	幾子・喜代子・登貴子・直子・米子			6枚			墨書		
6015		日本画（色紙）	緑雨ほか			5枚			彩色		
6016		日本画（色紙）	跡見玉枝			5枚			彩色		

宍戸璣別名一覧・略年譜

※下記別名一覧・略年譜は、下記資料および「宍戸璣関係文書（第二次受入分）」中の辞令類により構成した。

『広沢真臣・宍戸璣関係文書目録』[附録 宍戸璣略年譜]（国立国会図書館参考書誌部編 1967,国立国会図書館）

『百官履歴 一』（日本史籍協会編 1997,北泉社）

『明治維新人名辞典』（日本歴史学会 1981,吉川弘文館）

『増補 近世防長人名辞典』（吉田祥明 1976,マツノ書店）

『国史大辞典』（1986,吉川弘文館）

『大人名事典』（下中弥三郎編 1957,平凡社）

「経歴談」（宍戸璣述 『防長史談会雑誌』25号～27号 1911年11月～1912年2月,防長史談会）

【宍戸璣別名一覧】

幼名：辰三郎

名：子誠

字：世璣

諱：衡・直影

通称：辰之助・（安田）三郎・（山県）半蔵・備後助

号：敬宇・潮坪・巽庵・巽生・肉生・六六生・退一・如瓶道人・華陰堂主人

【宍戸璣略年譜】

文政12（1829）年 1歳

3月15日 長州藩士安田四郎兵衛直温三男に生れる 幼名、辰三郎 名、子誠、通称三郎

嘉永元（1848）年 20歳

山県太華（明倫館祭酒）の養子となる 通称、半蔵 諱、衡又直影 字、世璣 号、潮坪又敬宇又巽庵

嘉永4（1851）年 23歳

江戸安積良齊に入門 塾長となる

安政元（1854）年 26歳

幕府勘定吟味役村垣範正に従い 蝦夷地巡見

安政2（1855）年 27歳

12月から翌3年にかけて長崎滞在

安政5（1858）年 30歳

明倫館都講本役 長州藩世子毛利定広（元徳）侍読

万延元（1860）年 32歳

毛利定広（元徳）に伴い江戸詰

文久2（1862）年 34歳

9月18日 京都より江戸へ帰り勅使三条副使姉小路東下の説を報告

文久3（1863）年 35歳

1月13日 半蔵久阪玄瑞と信州行 文久2年12月10日江戸発 水戸及び信州松代に至り佐久間象山に面会招聘の公意を伝える

8月18日政変後 京摂に潜行し形勢視察

元治元（1864）年 36歳

7月 山口において禁門の変（7月19日）の報を聞く

8月 馬関戦争（8月上旬）事後処理のため横浜行

10月13日 小納戸役免 萩藩俗論党により謹慎を命ぜられる

慶応元（1865）年 37歳

1月 俗論党一掃により謹慎解除

6月6日 四国連合艦隊下関砲撃に関する幕府詰問への回答13条草案（疑対問答あるいは疑対問録）を作成

6月24日 広島差遣

8月3日 小田村素太郎とともに平士に列せらる

10月7日 半蔵名を宍戸備後助と賜い（家老宍戸備前末家格） 中老雇 井原主計の副として広島に差遣 赤川又太郎他従者百三十 9日山口発 15日岩国着 22日広島着 25日井原は公父子の意と称し帰国

11月2日 木梨彦右衛門を中老雇とし広島派遣 井原主計帰藩の事情を報知

11月16日 幕府大目付永井主水正・目附戸川鉾三郎・松野孫八一行広島着

11月20日 国泰寺応接 幕吏永井主水正等宍戸備後助を訊問

11月30日 第2回国泰寺応接 木梨等広島着を以て宍戸・木梨等国泰寺に至り幕吏と応接

慶応2（1866）年 38歳

1月4日 藩政府に対し「長防士民合議書」提出

2月7日 小笠原閣老広島着

5月1日 第3回国泰寺応接 宍戸備前・毛利筑前病を以て出席せず 宍戸家本家養子として宍戸備後助応対

5月9日 宍戸備後助・小田村素太郎幕吏により拘留

6月7日 第二次長幕戦争開始

7月3日 松平伯耆守の計らいにより宍戸備後助・小田村素太郎放免

7月6日 宍戸備後助 新知五百石 寄組 記録所役拝命 現務を除き直目附の事務を執る

明治元年まで藩史編集事業に従事

明治2 (1869) 年 41 歳
10月10日 任毛利家家扶 兼山口学校大教授
10月 任山口藩大参事

明治3 (1870) 年 42 歳
5月 任山口県権大参事
10月24日 任刑部少輔 叙従五位

明治4 (1871) 年 43 歳
6月25日 免刑部少輔
7月4日 制度取調御用被仰付候事
7月9日 廃刑部省置司法省 任司法少輔
8月12日 制度取調御用被免候事
11月4日 任司法大輔
12月19日 叙従四位

明治5 (1872) 年 44 歳
5月22日 免司法大輔 御用滞在被仰付候事
5月24日 任教部大輔
10月25日 兼任文部大輔

明治6 (1873) 年 45 歳
9月27日 依願免兼官

明治7 (1874) 年 46 歳
3月19日 除服出仕

明治9 (1876) 年 48 歳
1月18日 御用弁の為毎日9時より12時迄正院へ出勤可致事
12月5日 来る明治10年1月大和及京都へ行幸に付供奉被仰付候事

明治10 (1877) 年 49 歳
1月11日 廃教部省
1月12日 本年1月大和及京都へ行幸に付供奉仰付置候処被免候事
1月16日 任元老院議官 年給3,500円下賜
6月14日 御用有之京都へ被差遣候事
6月18日 御用有之山口県へ被差遣候事

明治12 (1878) 年 51 歳
3月8日 任特命全権公使 清国在勤 琉球帰属問題につき清国総理衙門と交渉
3月26日 叙勲二等賜旭日重光章

明治14 (1880) 年 53 歳
5月13日 帰朝 (3月説あり)

明治15 (1881) 年 54 歳
7月26日 一等官相当一等年俸下賜

8月12日 清国公使罷免 宮内省出仕 年俸 4,000 円下賜
8月17日 皇居御造営事務局副総裁

明治16 (1882) 年 55 歳
4月4日 任内閣委員 (醤油税別菓子税則制定の件元老院議定につき)

明治17 (1883) 年 56 歳
4月12日 任参事院議官 年俸 4,500 円下賜
4月15日 財務部勤務被仰付候事
4月17日 兼任宮内省御用掛
5月1日 任審理委員 (島根県令及同県会具状地方税中予備費支出の件)
10月7日 任財務部長
12月22日 任内閣委員 (17年第12号布告追加の件元老院議定につき)

明治18 (1884) 年 57 歳
5月19日 任審理委員 (大分県令同県令具状監獄費追払の件)
5月26日 任内閣委員 (政府紙幣交換の件元老院議定につき)
7月2日 任内閣委員 (明治10年第79号布告中改正の件元老院議定につき)
10月1日 叙正四位
11月12日 任内閣委員 (貨幣条例中補助銀貨品位公差改正の件布告案元老院議定につ
き)
12月22日 廃官 任元老院議官 年俸 4,000 円下賜

明治19 (1885) 年 58 歳
10月20日 叙従三位

明治20 (1886) 年 59 歳
2月25日 任高等法院陪席裁判官
5月24日 維新の功により子爵
6月15日 東京府賞職被仰付候事

明治23 (1889) 年 62 歳
10月20日 廃官 錦鶏間祇候被仰付候事
11月29日 貴族院議員

明治24 (1890) 年 63 歳
3月25日 依願免元老院議官

明治27 (1893) 年 66 歳
5月21日 位一級被進 叙正三位

明治34 (1901) 年 73 歳
9月30日 位一級被進 叙従二位
10月1日 歿 (9月29日説あり)